

美をたどる

皇室と岡山

三の丸尚蔵館収蔵品より

Imperial Household Art and Okayama:
Selections from The Museum of the Imperial
Collections, Sannomaru Shozokan



令和5年

7月15日[土]

前期 8月6日[日]まで

後期 8月8日[火]から

8月27日[日]

※一部展示替あり

岡山県立美術館

9:00 - 17:00 最終入場は閉館30分前まで。

7月15日[土]のみ10:00から開館。

7月29日[土]、8月26日[土]は夜間開館日につき

19:00まで開館。

7月24日[月]、31日[月]、

8月7日[月]、21日[月]は休館。



円山応挙
《牡丹孔雀図》(部分)
安永5年(1776)

後期

主催 | 特別展「美をたどる 皇室と岡山～三の丸尚蔵館収蔵品より」実行委員会
(岡山県立美術館、山陽新聞社、RSK山陽放送)、宮内庁

特別協力 | 文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社

助成 | 令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

特別協賛 | 株式会社 宗家源 吉兆庵

後援 | 一般財団法人岡山県国際交流協会、公益社団法人岡山県観光連盟、
おかやま観光コンベンション協会、岡山県教育委員会、岡山市、
岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、
公益社団法人岡山県文化連盟





第1章 集積 中近世美術の賞翫

三の丸尚蔵館は、皇居の東御苑内において、皇室に代々受け継がれた絵画・書跡・工芸品などの美術品を収蔵管理・調査・公開する施設です。現在約9,800点におよぶ収蔵品は、皇室から国への御寄贈品、御遺贈品などからなり、古代から近現代までの各時代・さまざまな分野にわたる貴重な作品が数多く収められています。

三の丸尚蔵館では令和元年度から新施設の建設工事が始まり、令和7年度の全館完成までの移行期間中に、より多くの方々に作品をご覧いただき、皇室と日本文化に親しんでいただきたいとの方針のもと、各地で展覧会が実施されています。

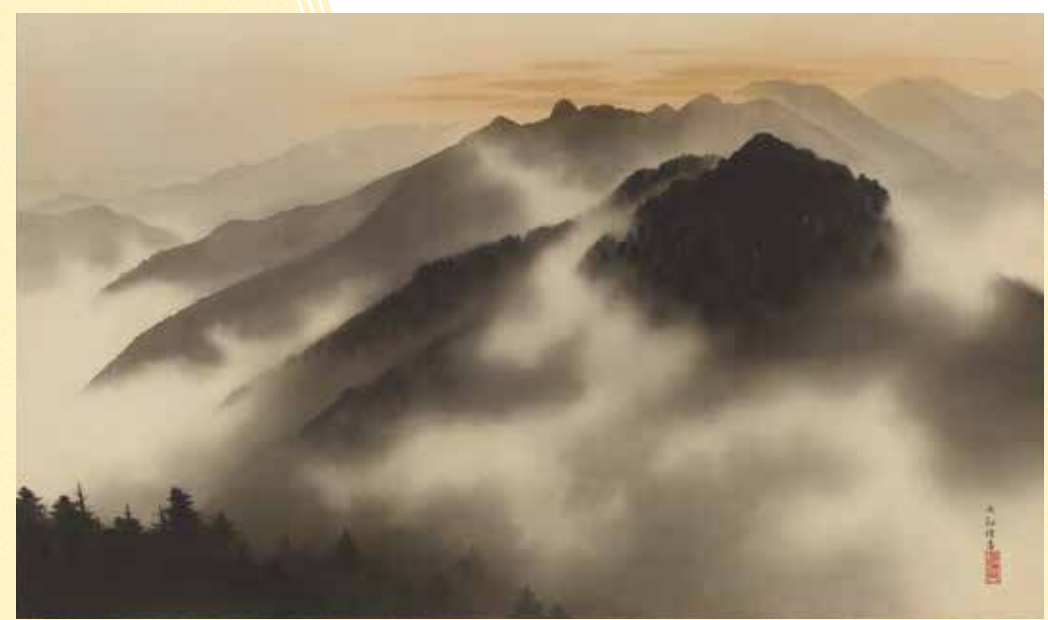
このたび岡山県立美術館においては、やまと絵の最高峰とされる高階隆兼筆《春日権現験記絵》(国宝)をはじめ、横山大観による水墨風景画の逸品《秩父霊峯春暁》、極めて精緻な彫金による《神龍呈瑞》など、各時代・分野の名品をご紹介します。また、近代の洋画家・松岡壽、満谷国四郎、児島虎次郎、鹿子木孟郎や、人形作家・平田郷陽ら、岡手が輩出した作家たちによる皇室ゆかりの作品を一挙に展覧いたします。皇室の御慶事の記念品として作られてきた、趣向を凝らした手のひらサイズの菓子器・ボンボニエールも見どころのひとつです。

The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan, is an institution located in the East Gardens of the Imperial Palace in Tokyo, which manages, researches and displays the collection of paintings, calligraphy, decorative arts and other art forms handed down by the Imperial Household. During this period when preparations are being made for the move to new facilities, exhibitions are being held in various parts of Japan to provide opportunities for all the more people to view works from the collection and become more familiar with the Imperial Household and Japanese culture. This exhibition presents a selection of major works from various periods and media, along with works by artists from Okayama with connections to the Imperial Household.



黒住章堂《虎之図》大正5年(1916) 後期

第II章 煌き 近代日本画の粋



横山大観《秩父霊峯春暁》昭和3年(1928) 前期



松岡壽《ベルサリエーレの歩哨》明治20年(1887)



児島虎次郎《なさけの庭》明治40年(1907)

第III章 黎明 油彩画秀作選

The Dawn of Oil Painting Masterpieces



百武兼行《バーナード城》明治11年(1878)



平田郷陽《瑞鳥》昭和34年(1959) 後期



幹山伝七《色絵四季草花図食器》明治時代前期(19世紀後半)



中川義實ほか《神龍呈瑞》明治33年(1900)

第IV章 寿ぎ 意匠を尽くす

Refined Designs



国宝 高階隆兼《春日権現験記繪》巻11(部分) 延慶2年(1309)頃
前後期場面替え

関連事業

記念講演会「三の丸尚蔵館—開館30年の歩み」※要観覧券(半券可)

日時 | 7月15日[土] 14:00-15:30 講師 | 小林彩子氏(宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官)
会場 | 能楽堂ホールtenjin9 (<http://tenjin9rsk.jp>)
▶ 当館より徒歩1分、RSKイノベティブメディアセンター内
定員 | 200名(当日先着順)

学芸員による美術館講座

時間 | 各回14:00-15:30 会場 | 地下1階講義室 定員 | 50名(当日先着順)
① 7月23日[日]「名宝の軌跡/雲谷派の足跡」 講師 | 森田詩織(当館学芸員)
② 8月13日[日]「皇室ゆかりの近代日本画を見る」 講師 | 橋凜(当館学芸員)

フロアレクチャー ※要当日観覧券

「油彩画の始まりをさぐる」 講師 | 廣瀬就久(当館主任学芸員)
日時 | 8月6日[日] 14:00-14:45 会場 | 2階展示室、地下1階展示室

美術の夕べ 夜間開館日限定フロアレクチャー ※要当日観覧券

時間 | 各回17:30-18:30 会場 | 2階展示室、地下1階展示室
① 7月29日[土]「第I・II章を中心に」
講師 | 森田詩織、橋凜
② 8月26日[土]「第III・IV章を中心に」
講師 | 廣瀬就久、福富幸(当館副管理者事務取扱学芸課長)

観覧料

前売券 1,100円/2枚セット前売券(コンビニでのみ販売) 2,000円

ローソクチケット[Lコード 61938]、セブンチケット[セブンコード 100-748]、
チケットびあ[Pコード 686-471]、イープラス、山陽新聞社サービスセンター、
岡山県内の主要プレイガイドで販売。※各前売券は7月14日[金]まで発券可

当日券 一般 1,400円/65歳以上* 1,300円/大学生* 1,000円/高校生* 800円/

中学生以下* 無料 *年齢が確認できる証明書をご提示ください。

20名以上の団体は当日券料金より200円引き。障がい者手帳をご持参の方と同伴者1名は無料。
本展観覧券で岡山の美術展(地下1階展示室にて同時開催)もご覧いただけます。

リピーター割

会期中、ご来館2回目以降に半券をご提示いただいた方は団体料金(当日料金より200円引き)でご覧いただけます。

交通案内 ※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

JR岡山駅後楽園口(東口)から
徒歩 | 約15分
路面電車 | 東山行「城下」下車徒歩約3分
宇野バス | 四御神、瀬戸駅、片上方面行「表町入口」下車徒歩約3分
岡電バス | 藤原団地行「天神町」下車すぐ



9



岡山県立美術館
〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
TEL | 086-225-4800
FAX | 086-224-0648
Email | kenbi@pref.okayama.lg.jp
WEB | <https://okayama-kenbi.info>



ホームページ



Facebook



Twitter



Instagram



1.《菊花形双鶴若杉桐文ボンビニエール》昭和41年(1966)/2.《角鳥籠形ボンビニエール》昭和時代初期(20世紀)/3.《宝船形ボンビニエール》昭和10年(1935)/4.《手箱形烏居文ボンビニエール》昭和10年(1935)/5.《竹形ボンビニエール》昭和9年(1934)/6.《丸形瑞鳥文ボンビニエール》昭和43年(1968)/7.《舞楽兜形ボンビニエール》昭和9年(1934)/8.《丸形梅唐草文ボンビニエール》昭和18年(1943)/9.《扇形菊桜文ボンビニエール》昭和10年(1935)/10. 狩野探幽《唐子遊園屏風》(部分) 江戸時代(17世紀) (後期) *掲載作品は全て宮内庁三の丸尚蔵館蔵、会期表記のないものは通期で展示。